

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価が上昇している。客の消費マインドが高まって1品多めに購入するようになっている。特にサラダ関係が売れている。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・今月の売上を前年比で見ると若干下回っているが、ここ数か月の下げ幅よりは良くなってきた。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・選挙終了後から予約が増えてきている。
		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・基本的に、施策上、客単価を上げたということが奏功している。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・正月三が日の観光客の利用が前年に比べ好調だったため、今月の貸渡件数は順調に推移している。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	競争相手の様子	・競合他社数社では、住宅展示棟への来場が増え、引き合いも増えているとの情報がある。建売棟の販売についても順調である。当社の状況も悪くはなく、景気はやや良くなっているとみている。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・消費税増税を意識した住宅建築相談が増える傾向が見受けられる。
	変わらない	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・前半は正月需要で売上も確保でき、寒さもあり中華まん等のホット商材が顕著に伸びた。後半は前半の反動もあり購買も控えめとなり、前年をやや下回るため、最終的には、ほぼ前年並みとなる見込みである。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・街への人の出がかなり少なく、来客数も半減している。郊外の駐車場があるショッピングセンターなどに客が取られているのが現状である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・年末年始は良かったが、正月後は観光客も帰り、地元客も仕事始めて忙しいのが響いているのかという感がある。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・正月三が日後から例年以上に急激に入客が落ちたが、週末は満席状態が続く。曜日による変化が激しい。新年会自体は減っている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・稼働率の前年同月比は、3か月前と比べてもあまり変わらない状況である。前年同月実績を上回る稼働が続いているものの、大きな変化はみられない。
	やや悪く なっている	百貨店（営業企画）	販売量の動き	・今月から近隣の役所が新庁舎として業務を開始したが、その効果が表れず、前年割れとなっている。部門別では、衣料品は前年をクリアできているが、家庭用品が前年割れ、食品は催事場で先の豪雪により参加業者が入店できず準備不足となり機会損失が発生するなど、天候にも恵まれていない。
			来客数の動き	・前年5月、11月と競合店が出店した影響と、続く消費不況で3か月前と比べると来客数の減少は大きい。
スーパー（販売企画担当）		来客数の動き	・地域の集客力が低下し、来客数が10%ほど減少している。	
コンビニ（経営者）		来客数の動き	・年末年始は少しは盛り上がったが、トータルでは前年より悪くなっている。回復感世間ではあるだろうが、客の懐は大変厳しそうである。	
その他専門店〔楽器〕（経営者）		販売量の動き	・新商品の発売前ということで販売に力が無く、消費は落ち着いている。	
通信会社（店長）		販売量の動き		
悪く なっている	-	-	-	
企業 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けは前年比で減少、民間工事向けは増加となっている。
		通信業（営業担当）	競争相手の様子	・客の都合で契約案件が途中で契約解除になるケースが出てきているが、それに代わる契約案件もすぐに出てくる状況である。
	やや悪く なっている	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注件数はあるが、その割には受注金額が低い。

		輸送業（本社事業本部）	受注量や販売量の動き	・毎年1月は受注量の少ない月であるが、前年と比較しても家電のボリュームが減少しているのが顕著に表れている。その他は大きな変動は無いが、物的には微減の様子である。
	悪くなっている	食料品生産業（総務）	受注量や販売量の動き	・繁忙期明けということもあるが販売の動きが悪い。前年同月比でも悪い感覚である。また、円安もあって原材料に価格上昇の動きがみられる。
雇用 関連 (沖縄)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣依頼が幅広い業種からある。一企業から複数人数の依頼や、離島からの依頼もあり、医療、福祉施設、事務系とジャンルが多岐にわたっている。
		人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・年が明けて、前年と比較しても受注案件の伸びが良くなってきた。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が若干減少している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	雇用形態の様子	・この時期の雇用形態は契約社員求人が多く、正社員雇用を希望している求職者に対してはハードルを上げてきている感がある。中途採用の正社員雇用は極少である。
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	